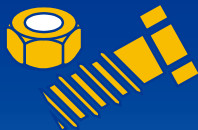


YAMALUBE®



防錆潤滑浸透剤



錆、腐食の抑止
ボルトを緩める
摺動部を滑らかに

Japanese specification

4 521407 094691

* 9 0 7 9 3 4 0 0 5 9 0 0 *

金属表面に強い防錆被膜を形成し錆を防ぎます。また、洗浄剤等で汚れを落し、水洗いした後も、その優れた水置換性能により、水を除去しなくても、スプレーするだけで防錆剤が水の下のにもぐり込んで金属を腐食から守ります。電気系統には除湿効果を持ち、サびついたボルトやナットには、強く浸透して潤滑性を与えます。

第4類第2石油類 75mL 危険等級Ⅲ 火気厳禁

製品名	防錆浸透潤滑剤
用途	モーターサイクル用金属部品全般の防錆潤滑
形式	エアゾール
成分	石油系溶剤、防錆剤、噴射剤
危険有害性情報	●極めて可燃性/引火性の高いエアゾール ●高圧容器、熱すると破裂のおそれ●皮膚刺激●強い眼刺激●遺伝性疾患のおそれの疑い●発がんのおそれの疑い●臓器の障害●呼吸器への刺激のおそれ●脱気またはめまいのおそれ●長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害●飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
使用上の注意	●全ての説明書きを読み、理解してから使用すること。●吸入・飲用不可。人体に害がありますので、吸入したり飲んだりしないこと。●保護手袋・保護眼鏡等を着用すること。●静電気に対する予防措置を講じること。また、火花を発生しない工具を使用すること。●使用後も含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。●裸火または高温のものに噴霧しないでください。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざかること。●使用時に喫煙をしないこと。●人体には使用しないこと。●換気のよい状態で使用すること。●上記用途以外には使用しないこと。●缶を逆さまにした状態で使用しないこと。●キャップがけ付くと、本体が落下する恐れがあるので注意すること。●シミや変色のおそれがあるので、衣服に付着しないよう注意すること。●塗装面やゴムなどに付着した場合は、変色等のおそれがあるので、すぐに洗い流すか、拭き取ってください。
使用上の注意	●ノズルを取り付け、噴射口の向きを確認し、約20cm離して直接スプレーしてください。 ●防錆潤滑に使用する場合は、多めにスプレーしてください。 ●特に錆ついた部分についてはブラシなどで擦り、錆をとってから再度スプレーしてください。 ●電気系統に使用する場合には軽くスプレーしてください。 ●ゆるみにくいネジやボルトは、スプレーして10分程度おいてから作業してください。 ●使用後は、キャップをし、石けんでよく手を洗ってください。
緊急時対応措置	●万一飲み込んだ場合は、吐き出させず、医師の診断を受けてください。●誤って目に入った場合や皮膚に付着した場合は、直ちに清水で15分以上洗浄し、異常のある場合は、医師の診断を受けてください。●使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに使用を中止し、換気のよい所で安静にしてください。気分が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。
廃棄物の処理方法	●子供の手の届かないところに、施設して保管してください。●保管の際は、直射日光の当たらない、40℃以上にならない所、火気の近くや錆びやすい水・湿気の多い所に置かないでください。●業務に使用した際は、内容物や容器、キャップ、使用した布やブラシ等の廃棄は、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託してください。●個人で使用する際は、中身を使い切ってから火気のない屋外で、右記のガス抜きキャップ使用方法に基づいて、噴射音が消えるまでガスを完全に抜いてから、地域の法令に従って廃棄処理してください。
販売元	株式会社ワイズギア 静岡県浜松市南区新橋町1103 TEL 0570-050814

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。
①炎や火気の近くで使用しないこと。②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
③高温にするや破裂の危険があるため、直射日光の当たった所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。④火の中に入れないこと。⑤使い切って捨てること。
高圧ガス：LPG

キャップ：PP ノズル：PE、M フィルム：PP
 ラベル スチール：容器
 MADE IN JAPAN 国連番号 1950 NET 180mL 指針番号 126

株式会社 ワイズギア

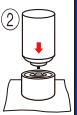
ガス抜きキャップの使用上の注意

●必ず中身を使い切ってから行ってください。●火気のない屋外で行ってください。●ガス抜きキャップ付き商品以外には使用しないでください。

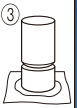
ガス抜き方法



スプレーボタンを引抜きます。



ウエス等の上でキャップの天面側の穴にノズルを合わせて缶を押しします。※スプレーの飛沫により、ウエスの下まで汚れる恐れがありますので、使用場所に注意してください。



噴射音が消えたら数分そのまま放置後、缶に油性ペンで「ガス抜き済み」と表示しキャップと缶を分別廃棄してください。